

MONTHLY NEWS 1月

SDGs に貢献する
サステナブルスイーツのお披露目会

総合政策学部の床桜ゼミ3年生が、阿南市那賀川町の地域食材を活用したお菓子づくりに取り組み、1月9日（月・祝）に「あるでよ徳島」（阿波おどり会館内）で展示・販売をいたしました。

コンセプトは「若者目線からのSDGsに貢献するサステナブルなお菓子づくり」です。地元のクラフトビール製造過程で生じた麦芽搾りかすや、形状から売れ残ったイチゴの活用に工夫を凝らしました。洋菓子店で試作品づくりを重ね「星屑タルト」や「TSUNAGU チュロス」など3点のスイーツが完成しました。

後日、これらの取り組みが評価され、飯泉徳島県知事に成果報告の機会を得て、激励の言葉をいただきました。



受験生応援企画
常磐町商店街に応援横断幕を設置！



1月13日(金)、YouTuber「瀬戸内サニー」さんと香川キャンパスの学生が協力して高松市の商店街に横断幕を設置しました。

瀬戸内サニーさんは香川県・岡山県を拠点に、地域に根ざしたPR活動を行うベンチャー企業「瀬戸内サニー」の社長 大崎龍史さんです。自ら YouTuber「瀬戸内サニー」として活動しており、地域を盛り上げています。

今回は常磐町商店街のイベントスペース「トキワード目」などにポスターを掲示し、学生とともに受験生を激励しました。参加した理工学部の漆原大起さんは「今までは受験する立場だったが、今回初めて応援する活動に携わることができて嬉しい」と話していました。

思い出を救う
「写真洗浄ボランティア講座」を実施



1月22日(日)に「真備町写真洗浄@あらいぐま岡山」から福井圭一氏をはじめ4名の講師をお招きし「写真洗浄ボランティア講座」を徳島キャンパスで実施しました。本講座は、本学と徳島県、とくしま産学官プラットフォームの主催で、本学学生の他、他大学の学生や地域の防災士の方など、計31名の方にご参加いただきました。

福井氏は、東日本大震災で写真洗浄のボランティアを始め、2018年の西日本豪雨災害で被災した真備町で現在も写真洗浄を続けられています。福井氏の講演の後、実際に写真を水で洗う作業を行いました。被災した写真はまず乾かすこと、次に水洗いすることが大事であることを学びました。

受講した学生は徳島県の「学生災害ネットワーク」に登録され、有事の際にはその学びをいかすことになります。

短期大学部×薬学部×TFTの
コラボでSDGsを促進！



本学はエシカル消費自主宣言を掲げています。生活科学科食物専攻では、鳥獣被害対策で捕獲したシカの有効利用のため、2016年から食の専門家をめざす学生によるシカ肉レシピの考案と、そのレシピを学生食堂の協力でランチとして提供しています。あわせてシカ肉の栄養価をリーフレットで発信し、ジビエ普及に繋がる取り組みを継続しています。

2022年度はシカ肉TFTランチBOXとして販売し、大学のTFT活動と初めてコラボレーションしました。また、薬学部の山本博文教授が開発に成功した完全陸上養殖のあおさのりをソースにアレンジし「鹿カツのあおさシャンテリーヌソース添え」を販売しました。

総合大学の強みをいかし、学部を超えたエシカル消費とサステナブルな取り組みを推進しています。

TFT (TABLE FOR TWO) は、社会貢献活動で、学生食堂のランチ1食に支払った金額から20円が、アフリカの子どもたちへの給食支援として寄付されます。

私たちが考えたシカ肉ランチをどうぞ！

